



参天製薬株式会社

2011年度 第2四半期決算説明会

第2四半期累計業績概要と  
通期業績予想

2011年11月2日

代表取締役社長兼CEO

黒川 明



# 2011年度第2四半期 連結累計期間業績

# 2011年度 第2四半期連結累計期間 決算概況

(単位:億円)	2010年度 第2四半期 累計実績	2011年度 第2四半期 累計実績	対前年 同四半期 増減率	2011年度 第2四半期 累計業績予想	対予想 達成率
売上高	539.1	567.8	+5.3%	573.0	99.1%
営業利益	141.1	145.7	+3.2%	145.0	100.5%
経常利益	144.9	150.5	+3.9%	148.0	101.7%
四半期 純利益	92.7	99.0	+6.8%	100.0	99.1%

\*業績予想: 2011年5月10日付公表

# 2011年度第2四半期連結累計期間 ハイライト

## 売上高

- 売上高は、対前年同期比 5.3%増と堅調に推移。
- 国内：医療用眼科薬は緑内障、ドライアイを中心に伸長。
- 海外：欧州、アジア共に増収傾向を維持。

## 営業利益

- 営業利益は、対前年同期比 3.2%の増益。
- 研究開発費を除く販管費は、海外のMR増強等により増加したが業績予想を下回る。
- 研究開発費は、計画通りに積極的な投資を継続。



# 売上高の増減要因(対前年同期比較)

2010年度  
第2四半期  
連結累計期間  
実績売上高  
539.1億円

+28.7億円

2011年度  
第2四半期  
連結累計期間  
実績売上高  
567.8億円

## 国内: +17.8億円

- + 医療用眼科薬 +12.6億円
- + 抗リウマチ薬 +0.8億円
- + 一般用医薬 ▲0.6億円
- + 医療用機器 +2.4億円
- + その他 +2.5億円

## 海外: +10.8億円

- + 北米 +3.0億円  
(うち為替 ▲0.8億円)
- + 欧州 +4.0億円  
(うち為替 +0.0億円)
- + アジア +3.8億円
  - うち中国 +0.9億円
  - (うち為替 ▲1.3億円)
  - うち韓国 +2.5億円
  - (うち為替 ▲0.1億円)

## 国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲4.1億円
- + 角膜 +13.8億円
  - うちジクアス +11.2億円
- + 緑内障 +12.3億円
  - うちタプロス +2.6億円
  - うちコンプト +18.2億円
- + アレルギー +0.6億円
- + その他 ▲10.0億円

## 欧州

- + 医療用眼科薬 +5.2億円
  - うち西欧 +0.6億円
  - うち東欧 +2.1億円
  - うち北欧 +1.3億円
  - うちロシア +1.0億円

<為替レート>	10年度 上期	11年度 上期
US\$	88.88円	79.74円
Euro	115.85円	116.08円
中国元	13.40円	12.51円

# S 売上高の増減要因 (対業績予想比較)

2011年度  
第2四半期  
連結累計期間  
予想売上高\*  
573.0億円

▲5.1億円

2011年度  
第2四半期  
連結累計期間  
実績売上高  
567.8億円

## 国内: ▲6.3億円

- + 医療用眼科薬 ▲6.7億円
- + 抗リウマチ薬 ▲0.1億円
- + 一般用医薬 +0.0億円
- + 医療用機器 +0.1億円
- + その他 +0.4億円

## 海外: +1.2億円

- + 北米 ▲0.8億円  
(うち為替 ▲0.1億円)
- + 欧州 +0.8億円  
(うち為替 +1.1億円)
- + アジア +1.2億円  
うち中国 ▲0.3億円  
(うち為替 +0.0億円)  
うち韓国 +1.4億円  
(うち為替 +0.0億円)

## 国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲1.4億円
- + 角膜 ▲3.5億円  
うちジクアス ▲2.3億円
- + 緑内障 +2.2億円  
うちタプロス ▲3.8億円  
うちコンプト +2.9億円
- + アレルギー ▲2.4億円
- + その他 ▲1.5億円

## 欧州

- + 医療用眼科薬 +0.7億円  
うち西欧 ▲0.1億円  
うち東欧 ▲0.8億円  
うち北欧 +1.3億円  
うちロシア +0.3億円

<為替レート>	11年度 予想	11年度上期 実績
US\$	82.00円	79.74円
Euro	113.00円	116.08円
中国元	12.50円	12.51円

\*業績予想: 2011年5月10日付

# 損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

単位: 億円	2010年度 第2四半期 実績	2011年度 第2四半期		主な差異要因
		実績	差異	
売上高	539.1	567.8	+28.7	
売上原価 (対売上高比率)	174.3 32.3%	177.6 31.3%	+3.3 ▲1.0pt	製造固定費減少▲0.1pt、品目構成の変化▲0.5pt、技術導出収入による影響▲0.2pt、その他▲0.2pt
研究開発費除く販売費 (対売上高比率)	159.8 29.7%	168.4 29.7%	+8.6 +0.0pt	・国内販売費▲2.9億円 ・海外事業費用: 欧米事業 +6.2億円、アジア事業 +4.0億円 (うち為替要因▲1.0億円)
研究開発費 (対売上高比率)	63.7 11.8%	76.0 13.4%	+12.2 +1.5pt	
営業利益 (対売上高比率)	141.1 26.2%	145.7 25.7%	+4.5 ▲0.5pt	
営業外収益	4.8	5.0	+0.2	
営業外費用	1.0	0.2	▲0.8	
経常利益	144.9	150.5	+5.5	
特別利益	0.0	0.6	+0.5	
特別損失	1.1	0.2	▲0.9	
税金等調整前当期純利益	143.8	150.8	+7.0	
法人税等	51.1	51.8	+0.7	
四半期純利益	92.7	99.0	+6.3	

〈為替レート〉	10年度上期	11年度上期
US\$	88.88円	79.74円
Euro	115.85円	116.08円
中国元	13.40円	12.51円



# 貸借対照表

(単位:億円)	2011年3月末		2011年9月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,376.6	74.5%	1,422.8	75.5%	+46.1
固定資産	471.3	25.5%	461.7	24.5%	▲9.5
繰延資産	-	-	-	-	-
<b>資産合計</b>	<b>1,848.0</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,884.5</b>	<b>100.0%</b>	<b>+36.5</b>
流動負債	241.0	13.0%	222.9	11.8%	▲18.1
固定負債	42.9	2.3%	40.0	2.1%	▲2.8
<b>負債合計</b>	<b>283.9</b>	<b>15.4%</b>	<b>263.0</b>	<b>14.0%</b>	<b>▲20.9</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,564.0</b>	<b>84.6%</b>	<b>1,621.5</b>	<b>86.0%</b>	<b>+57.5</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,848.0</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,884.5</b>	<b>100.0%</b>	<b>+36.5</b>

## 【主要変動科目】

流動資産：現金及び預金+44.3億円、商品及び製品+10.1億円、原材料及び貯蔵品▲3.1億円

固定資産：建物及び構築物▲4.9億円、建設仮勘定+4.1億円、ソフトウェア▲2.1億円、  
投資有価証券▲3.5億円、繰延税金資産▲4.5億円

流動負債：買掛金▲7.1億円、未払金▲7.9億円、未払法人税等+5.7億円、賞与引当金▲1.1億円

固定負債：退職給付引当金+1.2億円、役員退職慰労引当金▲2.6億円

純資産：利益剰余金+55.5億円、その他有価証券評価差額金+3.5億円、為替換算調整勘定▲3.1億円





# 2011年度 通期連結業績予想

# 2011年度 連結業績予想概況

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度 業績予想*	対前期 増減率
売上高	1,108.1	1,160.0	+4.7%
営業利益	307.3	300.0	▲2.4%
経常利益	314.8	305.0	▲3.1%
当期純利益	213.3	205.0	▲3.9%
<b>ROE</b>	14.5%	12.6%	▲1.9pt

\*業績予想：2011年5月10日付

# 2011年度 連結業績予想

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度	
		業績予想*	増減
売上高	1,108.1	1,160.0	+51.8
売上原価	344.3	360.0	+15.6
(対売上高比率)	31.1%	31.0 %	▲0.0 pt
研究開発費を除く販管費	324.1	340.0	+15.8
(対売上高比率)	29.3%	29.3%	0.1 pt
研究開発費	132.2	160.0	+27.7
(対売上高比率)	11.9%	13.8 %	1.9 pt
営業利益	307.3	300.0	▲7.3
(対売上高比率)	27.7%	25.9 %	▲1.9 pt
営業外損益	7.4	5.0	▲2.4
経常利益	314.8	305.0	▲9.8
特別損益	▲4.0	0.0	+4.0
税引前当期純利益	310.7	305.0	▲5.7
法人税等	97.4	100.0	+2.5
当期純利益	213.3	205.0	▲8.3
ROE	14.5%	12.6%	▲1.9pt

<為替レート>	
2010年度実績	
US\$	85.57円
Euro	113.45円
中国元	12.94円
2011年度予想	
US\$	82.00円
Euro	113.00円
中国元	12.50円

\*業績予想: 2011年5月10日付



# 參考資料



**參考資料**  
**2011年度第2四半期**  
**連結累計期間業績概要**

# セグメント別売上高

(単位:億円)	2011年度 第2四半期実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	467.7	+3.4 %	84.4	+9.3 %	<b>552.2</b>	<b>+4.3 %</b>
医療用医薬品	443.3	+3.8 %	84.4	+9.3 %	<b>527.7</b>	<b>+4.6 %</b>
眼科薬	386.8	+3.4 %	82.4	+10.5 %	<b>469.3</b>	<b>+4.6 %</b>
抗リウマチ薬	50.7	+1.7 %	0.8	+45.5 %	<b>51.5</b>	<b>+2.2 %</b>
その他医薬品	5.7	+78.6 %	1.0	▲ 46.7 %	<b>6.8</b>	<b>+30.4 %</b>
一般用医薬品	24.4	▲ 2.4 %	0.0	▲ 11.2 %	<b>24.4</b>	<b>▲ 2.4 %</b>
その他	9.2	+35.9 %	6.4	+136.5 %	<b>15.6</b>	<b>+64.6 %</b>
医療機器	9.1	+36.2 %	6.4	+136.5 %	<b>15.5</b>	<b>+65.0 %</b>
その他	0.0	+6.1 %	—	—	<b>0.0</b>	<b>+6.1 %</b>
合計	477.0	+3.9 %	90.8	+13.6 %	<b>567.8</b>	<b>+5.3 %</b>

(単位:億円)	2010年度 第2四半期 実績	2011年度 第2四半期		
		実績	増減額	対前年同期 増減率
北米	6.2	9.2	+3.0	+49.0 %
欧州	40.7	44.7	+4.0	+9.9 %
アジア	33.0	36.8	+3.8	+11.7 %
その他	0.0	0.0	▲0.0	—
合計	79.9	90.8	+10.8	+13.6 %

# キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2011年度 第2四半期 実績
現金等期首残高	724.8
現金等 増減額	62.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	93.2
投資活動によるキャッシュ・フロー	14.1
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 42.4
現金等に係る換算差額	▲ 2.6
現金等期末残高	787.1

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません





# 設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2010年度		2011年度	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想*
設備投資額	4.9	17.0	12.6	62.1
減価償却費	13.7	28.0	13.1	29.5
リース料	1.2	1.5	0.1	0.4

\*業績予想: 2011年5月10日付



# 参考資料

## 2011年度通期連結業績予想



2011年度通期予想

## セグメント別売上高予想

(単位:億円)	2011年度 予想*					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	942.8	+3.6 %	190.7	+8.8 %	<b>1,133.5</b>	<b>+4.4 %</b>
医療用医薬品	896.4	+ 3.8 %	190.5	+8.8 %	<b>1,086.9</b>	<b>+4.7 %</b>
眼科薬	785.6	+3.9 %	163.1	+7.3 %	<b>948.8</b>	<b>+4.5 %</b>
抗リウマチ薬	99.1	+1.9 %	1.0	▲ 3.5 %	<b>100.1</b>	<b>+1.8 %</b>
その他医薬品	11.6	+13.9 %	26.3	+19.9%	<b>38.0</b>	<b>+18.0 %</b>
一般用医薬品	46.4	▲ 1.5 %	0.1	+36.0 %	<b>46.5</b>	<b>▲ 1.4 %</b>
その他	19.8	+32.3 %	6.5	▲ 10.7 %	<b>26.4</b>	<b>+18.2 %</b>
医療機器	19.7	+32.6 %	6.5	▲ 10.7 %	<b>26.3</b>	<b>+18.3 %</b>
その他	0.1	▲ 6.5 %	—	—	<b>0.1</b>	<b>▲ 6.5 %</b>
合計	962.7	+4.0%	197.2	+8.0 %	<b>1,160.0</b>	<b>+4.7 %</b>

\*業績予想: 2011年5月10日付



# 海外売上高予想

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度		
		予想*	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	30.6	36.2	+5.5	+18.2%
欧州	85.1	90.5	+5.3	+6.3%
アジア	66.6	70.2	+3.6	+5.4%
その他	0.0	0.1	+0.0	+60.0%
合計	182.6	197.2	+14.6	+8.0%

\*業績予想: 2011年5月10日付



# 参考資料

## 国内医療用眼科薬市場概況

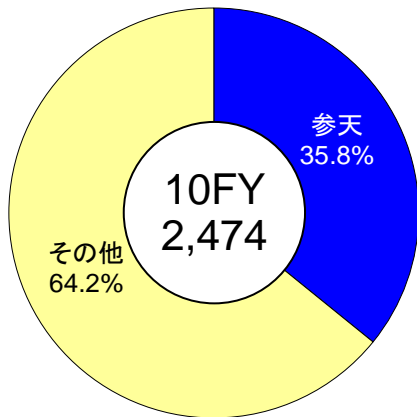


# 国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科計：11FY2Q累計市場規模は対前年+6.1%。網膜領域、アレルギー領域が引続き市場を牽引。参天シェア36.7%
- ・緑内障：市場は対前年+1.8%と微増。参天はタプロス、コソプトの寄与により対前年+15.0%、シェア28.0%
- ・角膜：市場は対前年+11.0%と拡大。参天はヒアレイン、ジクアスを中心に+14.7%と伸長し、シェアは77.6%

市場規模:億円  
%:金額ベース

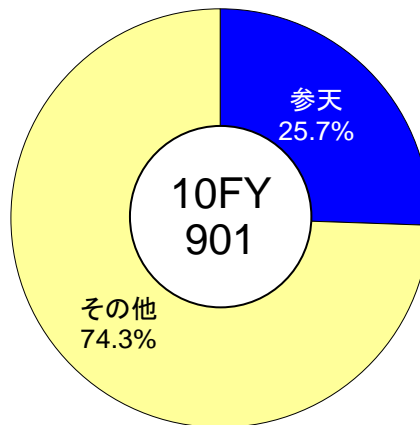
## 眼科薬計



10FY 11FY2Q累計

(金額) 前年比	市場	+5.3%	+6.1%
	参天	+1.0%	+5.5%
参天シェア		35.8%	36.7%

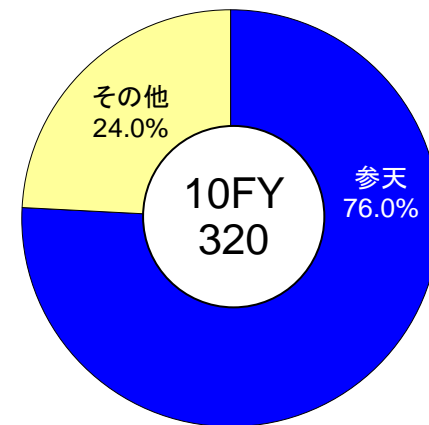
## 抗緑内障剤



10FY 11FY2Q累計

市場	+1.8%	+1.8%
参天	+13.5%	+15.0%
参天シェア	25.7%	28.0%

## 角膜疾患治療剤



10FY 11FY2Q累計

市場	+1.0%	+11.0%
参天	-0.5%	+14.7%
参天シェア	76.0%	77.6%

- 主な参天製品:
- ・抗緑内障剤: タプロス、コソプト、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
- ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン、ジクアス

出典: ©2011 IMS Japan  
IMS-JPM 2009-11を基に参天分析  
無断転載禁止

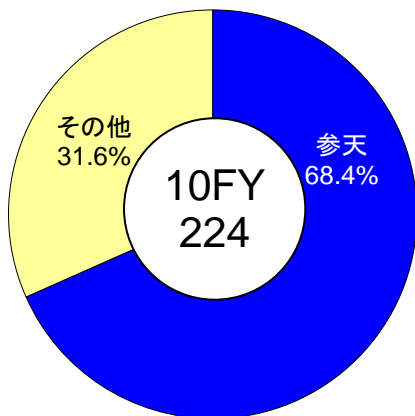


# 国内医療用眼科薬：市場概況(抗菌・アレルギー)

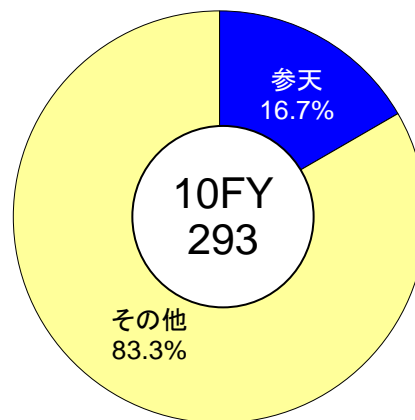
- ・抗菌：11FY2Q累計の市場規模は対前年-3.6%と減少。参天はクラビットを中心にシェア68.3%確保
- ・抗アレルギー：11FY2Q累計の市場は対前年+17.9%と拡大。競合品の伸長傾向が続く中、参天シェアは19.1%

市場規模: 億円  
%: 金額ベース

## 抗菌点眼剤



## 抗アレルギー剤



		10FY	11FY2Q累計
(金額) 前年比	市場	-1.0%	-3.6%
	参天	-3.3%	-4.1%
参天シェア		68.4%	68.3%

		10FY	11FY2Q累計
		+22.3%	+17.9%
		+2.9%	+20.3%
		16.7%	19.1%

-主な参天製品:  
 ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド  
 ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレギサール

出典: ©2011 IMS Japan  
 IMS-JPM 2009-11を基に参天分析  
 無断転載禁止



**2011年度 第2四半期**

# **新製品開発の現状**

**2011年11月2日**

**取締役 専務執行役員**

**米国・欧州事業管掌 兼 研究開発本部長**

**西畑 利明**





# 主要臨床プロジェクト状況一覧①【領域別】

(赤字下線:11FY1Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
緑内障		DE-112 アデノシンA <sub>2A</sub>		DE-111 タフルプロスト/チモロール 欧州 日本	DE-085 タフルプロスト 中国 米国 日本・アジア 欧州・ラテンアメリカ
		DE-090 ロメリジン塩酸塩			
角結膜疾患		DE-101 リボグリタゾン	DE-089 ジクアホソルナトリウム 中国 韓国 日本		
	DE-105 米国 ペプチド組合せ剤 日本				
		DE-110 SEGRA			
網膜 ぶどう膜 疾患			DE-109 シロリムス		
			DE-102 ベタメタゾン		
その他 感染症・アレルギー・RA		DE-098 抗APO-1抗体	DE-114 エピナスチン塩酸塩		DE-108 レボフロキサシン1.5%



# 主要臨床プロジェクト状況一覧②【地域別】

(赤字下線: 11FY1Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

実施地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
日本			DE-102 ベタメタゾン		DE-085 タフルプロスト
		DE-090 ロメリジン塩酸塩	DE-111 タフルプロスト/チモロール		DE-089 ジクアホソルナトリウム
		DE-105 ペプチド組合せ剤	DE-114 エピナスチン塩酸塩		DE-108 レボフロキサシン1.5%
		DE-098 抗APO-1抗体			
北米 (ラテンアメリカ含む)	DE-105 ペプチド組合せ剤	DE-110 SEGRA	DE-109 シロリムス	米国	DE-085 タフルプロスト ラテンアメリカ
		DE-101 リボグリタゾン			
アジア		DE-112 アデノシンA <sub>2A</sub>		中国	DE-085 タフルプロスト 韓国ほか
				中国	DE-089 ジクアホソルナトリウム 韓国
欧州			DE-111 タフルプロスト/チモロール		DE-085 タフルプロスト

# 主要臨床プロジェクトの現状

## ■DE-085 緑内障・高眼圧症

販売名：参天「タプロス」「TAFLOTAN」、米メルク社\*「SAFLUTAN」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	発売	発売	<b>一般名：</b> タフルプロスト  <b>【発売開始】</b> 日本：2008年12月 欧州：2008年6月 アジア：2010年3月 ラテンアメリカ：2010年8月  <b>【導出】</b> 米メルク社： 2009年4月
欧州**	発売27カ国／承認39カ国 米メルク社*に一部導出	発売27カ国／承認37カ国 米メルク社*に一部導出	
アジア	発売4カ国／承認6カ国 中国：承認申請中	発売4カ国／承認5カ国 中国：承認申請中	
米国他	米メルク社*に導出 発売4カ国／承認10カ国 米国：承認申請中	米メルク社*に導出 発売4カ国／承認9カ国 米国：承認申請中	

### 【発売国】 世界合計:36カ国

- ・参天：日本、アジア4カ国（香港、韓国、インドネシア、シンガポール）、欧州20カ国（ドイツ、フィンランド他18カ国）
- ・米メルク社\*：欧州7カ国（イギリス、スペイン、オランダ、イタリア、ポルトガル、オーストリア、スイス）、ラテンアメリカ4カ国（バハマ他）

### 【承認国】 世界合計:56カ国（今回4カ国追加：タイ、ハンガリー、アゼルバイジャン、パナマ）

\*米メルク社への販売権導出(2009年4月)：許諾地域はドイツを除く西欧、北米、南米、アフリカ

\*\*CIS諸国を含む

# 主要臨床プロジェクトの現状

## ■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	発売	発売	一般名： ジクアホソルナトリウム
アジア	中国：承認申請準備中 韓国：承認申請中	中国：P3 韓国：承認申請中	



# 主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

## ■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

## ■DE-111

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	P3	P3	一般名： タフルプロスト／チモロール マレイン酸塩(配合剤)
欧州	P3	P3	

## ■DE-112

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
米国	P1/2a	P1/2a	アデノシンA <sub>2A</sub> 受容体作動薬

# 主要臨床プロジェクトの現状 – 角膜疾患 –

## ■ DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
米国	P2	P2準備中	一般名:リボグリタゾン
日本	P2b終了	P2b終了	

## ■ DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	P2	P2	ペプチド組み合せ剤
米国	P2準備中	P2準備中	

## ■ DE-110 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
米国	P2	P2	選択的グルココルチコイド受容体作動薬(SEGRA)



# 主要臨床プロジェクトの現状 －網膜/ぶどう膜疾患－

## ■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	P2/3	P2/3	一般名: ベタメタゾン

## ■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
米国	P3	P3	一般名: シロリムス

# 主要臨床プロジェクトの現状 –その他–

## ■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	発売 (2011年6月)	発売 (2011年6月)	一般名: レボフロキサシ(1.5%)

## ■DE-114 アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	P3	P3	一般名: エピナスチン塩酸塩

## ■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/2発表時)	
日本	P2	P2	抗APO-1抗体





# 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。